

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	環境審議会事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	04	01
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	環境審議会委員	意図	本市の環境保全を適正に推進する。
事業内容	環境審議会を開催し、環境保全に関する基本的事項等に必要な調査及び審議を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	従前、流山市公害対策審議会が環境保全に関する調査及び審議を行っていた。流山市付属機関に関する条例の改正により流山市環境審議会が同内容を引き継いで調査及び審議を行っている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	環境審議会開催回数	11	8		回	→→	
②	環境審議会出席委員数	85	57		人	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は諮問なし。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,629,268	7,015,388	3,353,600				
事業費(b)(円)		764,268	303,388	57,600				
うち一般財源		764,268	303,388	57,600				
職員給与費(c)(円)		6,865,000	6,712,000	3,296,000				
人役・職員(人)		1.00	1.00	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	平成30年10月18日に任期が満了したが、審議案件がないため次期委嘱を延期した。	③取組における課題(Check)	平成31年度は、審議会の公募を行い新たな委員のもと地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の計画策定に伴う議論を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	環境審議会の任期満了及び環境施策の進捗状況について	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	今後計画策定が多数予定されるため平成31年度以降のスケジュールの計画が必要となってくる。